

十年後の商業社会

商業近代化地域計画まとまる

鹿児島市の今後の商業はいかにあるべきかを考えた「鹿児島市商業近代化地域計画報告書」がこのほどまとまりました。この事業は中小企業庁の委託により、日本商工会議所の商業近代化委員会の規定にもとづいて、昨年五月鹿児島商工会議所に「商業近代化鹿児島地域部会」を設置し、唱市、商工会議所が一体となって、地元の商業関係者、消費者、学識経験者や関係団体および公共機関など地域縦ぐるみの参加で取り組み、なかでも具体的な作業は地元大学から選任された委員だけで構成したワーキング・グループを中心にして進めてきたものです。報告書は各種の基礎資料や実態調査の分析にもとづき、地域商業全体をとりまく環境ならびに商業、物流の変化を予測し、この結果をもとにほぼ十年先の将来への課題と基本的な方向づけがなされています。ここでは紙面の都合でその一部だけを紹介してみましょう。

むことが課題となります

いては、商業

いつも賑わっている納屋通り商店街

実施にあたつての要望

市政テレビ・ラジオ番組

- M B C テレビ「市民のひろば」(毎日曜午前8時から)

6月8日 虫歯を防ごう	6月22日 日本脳炎の予防
6月15日 ごみ処理	6月29日 6月の市政 ハイライト

■ K T S テレビ「市政の窓」(毎月最終土曜
午前11時から)

6月28日 日本脳炎の予防

■ M B C ラジオ「市政スポット」(毎土曜午後
5時15分から)



心のふれあう市政に

鹿兒島市長 山之口 安季

人間にとて大切なことは「温かい心と心のふれあい」だと思思います。そして、その心の輪を拡げることによって、素晴らしい地域社会が生まれます。私は市政の基本も、そうでなければならないと考えています。

実りを約束できる対話が必要です。私は初登庁にあたり、市の職員に「市民へのサービスが十分にできることにするため、市役所内部の対話を深め、明るい職場にしてい」と協力をお願いしました。

私は歴代市長の残された立派な仕事は受け継いだうえ、更に前向きの姿勢で、「より活気に満ち、福祉あふれる街づくり」に全力投球します。市民の皆さんとの心温まるご理解とご協力を願い申し上げ、市長就任のごあいさつといな

物流施設

また個別商店にあっては、経営の近代化を推進し、専門化を目指すとともに、組織化と取り組み、商店街としての環境整備や共同事業を積極化し、商店街としての機能を特化し、個性化することが肝要になります。

商業近代化のためのめざす方向

この数年間に鹿児島市は人口の増加、地域の拡大などがいちじるしく、これまでの一点集中型の都市構造には限界があり、新しい顧客の需要に対応させた複数の開発拠点づくりを進める中で都市全体の効率の良い発展を目指す必要があります。

整える必要が望まれる。

らねばならないので、鹿児島広域市町村圏の機能を活用する必要がある。

■ 物流施設

これらの拠点には、中央地区、西駅地区、上町地区、鴨池・郡元地区、伊敷・草牟田地区など本市の物流施設は、昭和五十年代後半の時期にいずれも機能的にオーバーフローすることが予測されます。それでは以後の対策として、新規物流システムの開発と建設が

需要に応じて、広域型、地域型近隣型として整備されるでしょう。整備にあたっては主

(7) この近代化計画は都市計画とあわせて推進する必要があり専門委員会や市民参加の審議機関を早急に発足させるべきである。
※なお、この報告書をご希望の方は有料でお分けしますので商工会議所(電話九一七一)へお申込みください。

望まれる下水道施設の早期整備

鹿児島市の現況と今後の計画

下水道は家庭の台所や水洗トイレ、工場などから排出される汚水を科学的に浄化処理する施設です。わたくしたちの生活環境を守り、重要な水資源を確保することもより、いつまでも美しい海やきれいな川を維持するために下水道の整備を進めなければなりません。

鹿児島市の下水道は、戦後全国に先がけて昭和三十年から活性汚泥法による錦江汚水処理場が運転開始し、市街地の発展とともに下水道計画区域が拡大され、その普及も順調に伸びてきました。そこで今日はこの下水道の現況をお知らせします。

先進国よりは低い普及率は九州一だが

本市の下水道は、昭和四十九年度末における処理面積一八七五ヘクタール、処理区域人口約十五万人で、市街地人口に対して約四三パーセント総人口に対しては約三三パーセントと九州一の普及率です。この普及率を耐久消費財等と比較してみると次のとおりで、あまりにも遅れていることがわかります。

○電気洗濯機 九八% ○電気冷蔵庫 九五% ○カラーテレビ 七六% ○自家用自動車 四八%

○全国平均下水道 二一% ○鹿児島市下水道 三三% ○また、先進国の状況と比較しますと、イギリス九四パーセント、西ドイツ七九パーセント、フランスの四〇パーセントとまだまだ遅れているようです。

そこでこの下水道事業をさらに推進するため、昭和四十七年に昭和五十五年度を目標とした計画人口三十八万人

下水道整備は他の都市施設に

昭和六十二年度までに
市街地は完備予定

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道は全て完備されることになります。

このように毎年、年次計画にそって下水道の早期完成を目ざしています。

下水道の建設には莫大な費用がかかります

昭和五十年度の下水道建設の事業費は当初予算で十七億円ですが、昭和五十五年度までの建設事業費は約三百二十

円です。このように毎年、年次計画に強く要望をしています。

受益者負担金制度などで早期整備

このよう莫大な資金を要するため、昭和四十八年度から市民の皆さんのご理解と

ご協力により下水道計画区域の受益者（土地所有者等）の

方々にも建設費の一部を負担

と新しく計画の変更を図ります。そこでこの計画でいきますと

昭和六十二年度までには、市街地の下水道

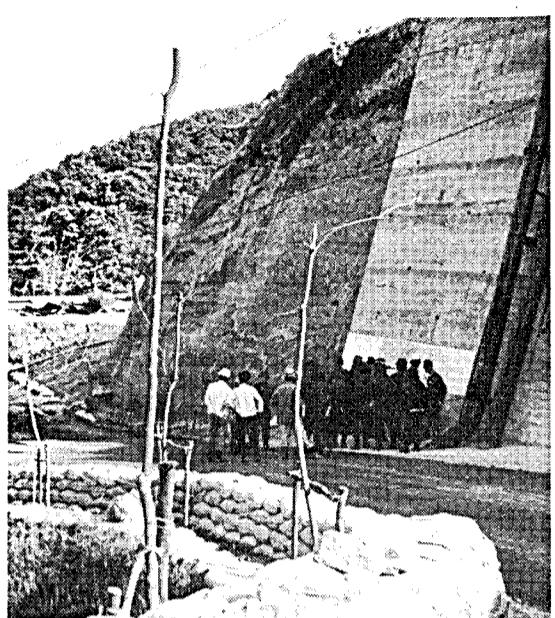
雨災害に備えまじめう

後半に大雨のおそれ

今年もうつとおしいつゆの季節となりました。皆さんはお宅では雨期の過し方や雨による被害などに対する備えはもうお休みになりましたでしょうか。

今月後半にかけては局地的に大雨の降るおそれもありますので、これから本格的なつゆを前に備えを怠らないように心がけましょう。

鹿児島地方気象台の予報によると、ここ二、三年のつゆの特徴は、平年に比べつゆの入りが早めで、そしてつゆ明けは遅れがちとなり、雨量は少なくなってきているそうです。



昨年行われた災害危険か所の事前調査

灾害時の心がけ

市では今年もつゆに備えて災害危険個所の事前調査を行なっています。

○大雨注意報など気象予報に

い、造成地など危険が予想される地域を指定しました。そしてこれらの地域において災害対策の説明会を開き防災対策をたてるなどしていますが、災害を防ぐには一人ひとりの自覚と備えがもつとも大事なことです。

次のようなことにかねがねから十分心がけるようにしましょう。

○くずれやすいがけや土手は雨水がしみこまないようにはビニールなどをかぶせる。

○水がしみこみくずれやすくなるので、がけの上などに花園や畑などはつくらない。

○排水溝の塵や砂、石、竹、木ぎれなどは取り除いておく。

○大雨や長雨のあとはよく見回って、地割れや陥没などの異状に気づいたら隣り近所の人たちにもしらせるとき同時に消防署（☎ ②六一五八）に連絡する。

○水が流れだしたり、バラバラと土砂が少しづつ落ちるときは、がけくずれの前ぶれと思つてみんなにもしらせとすぐ避難する。

○かねてから避難先や道順を考えおく、がけ下や川の

そばは通らない。

○雨がはげしくなると避難がむずかしく、また暗くなるといつそう避難が困難になる

長雨や集中豪雨によって不安全や危険を感じたら早めにこ

避難は早めに

市では災害時の避難所として学校など三十か所を設けてあります。

先は市役所交通防災課（☎ ②二一内線二四二）へ。

なお、緊急な場合はこの避難所だけにとらわれず近くの安全な施設へ避難してください。

この場合は市交通防災課へご連絡ください。

災害などのお問合せ、連絡へ一ー一内線二四二）へ。

なお、緊急な場合はこの避難所だけにとらわれず近くの安全な施設へ避難してください。

この場合は市交通防災課へご連絡ください。

休日在宅医さん

(診療時間午前9時から午後5時まで)

6月8日(日)

内科(小児科)

鈴江今松東月外木本大野整大產婦人科有川產婦人科眼有耳科鼻科耳鼻科

院(稲荷町)47 1891
院(甲突町)23 6300
院(武池1丁目)51 2595
院(郡元町)50 7198
院(上福元町)68 2438
科(整形・皮・泌を含む)
病院(西田1丁目)53 7582
木下外科医院(鴨池1丁目)53 6414
(皮フ科)整形山病院(上竜尾町)47 6005
産婦人科有川產婦人科(下伊敷町)22 1846
眼科村眼科医院(中央町)54 0291
耳鼻科鼻科耳鼻咽喉科(下伊敷町)29 3419

6月15日(日)

内科(小児科)

放射線科今重医院(小川町)22 2201
國東城飯河野竹之下外木本重病院(上之園町)53 3141
川井田外科医院(平之町)23 5484
前原整形外科(易居町)23 0085
川島病院(上福元町)68 2251
產婦人科鮫島產婦人科医院(下福元町)68 5070
眼有蘭眼科(真砂本町)54 0879
耳鼻科鼻科咽喉科(平之町)23 1886

6月22日(日)

内科(小児科)

武田内ダ山坂胃紫有外元腸原川科(整形・皮・泌を含む)
病院(紫原4丁目)52 6520
院(谷山塩屋町)69 6253
科(整形・皮・泌を含む)
豐島仁原田外科病院(下荒田3丁目)53 0317
入部整形外科医院(和田町)69 3123
產婦人科末永產婦人科(上之園町)54 6267
眼科平塚眼科医院(薬師町)54 3567
耳鼻科黒木耳鼻咽喉科(真砂町)52 8292

6月29日(日)

内科(小児科)

内橋青山田中小兒科医院(薬師町)54 3481
外山内科医院(伊敷町)29 2519
大迫内科医院(上之園町)54 3478
稻森幸浩内科(上福元町)68 2550
外科(整形・皮・泌を含む)
中村胃腸科外(下荒田2丁目)55 1288
科病院種子田外科医院(下伊敷町)29 5693
整形外科白坂病院(中央町)55 3161
兜玉整形外科病院(上福元町)68 3001
產婦人科中村医院(上本町)22 6917
眼科豊島眼科医院(南林寺町)26 1211
耳鼻科吉満耳鼻咽喉科医院(小川町)22 3387

市社会教育課(内線223465)

市広報課(内線211269・393)

市役所本館地下会議室

市役所本館地下会議室